

教育長室からのお知らせ No. 89(令和 4 年 12 月)

教育長 田中 庸寛



今年も残すところ 1 か月となりました。この 1 年、大きな事件・事故がなく終えようとしています。

都内の公立小学校では、今季初めて、インフルエンザによる学年・学級閉鎖を行う状況が発生しました。コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐためにも、こまめな手洗いや 3 密の回避など、引き続き対策を徹底してまいりましょう。

もうすぐ冬休みを迎えます。クリスマスやお正月などイベントの多い季節です。今年はコロナ禍で見合わせていたイベントなどが、3 年ぶりに開催されるものも多数あるようで、外出の機会が多くなることが考えられます。10 月 31 日に韓国で起こった痛ましい事故は記憶に新しいところですが、人が多く集まるところでは、コロナ感染だけでなく、トラブルに巻き込まれる可能性も高くなります。ご家庭においても子どもたちへの注意喚起を改めてお願いいたします。

先日、塩浜学園を会場として、義務教育に関する研究大会が開催されました。9 年間を見通したカリキュラム開発については、利点として、新たに設定する教科が、教職員集団の成長や、学校と地域との協働に寄与するものであるといったお話しなどがありました。カリキュラムを作り、小中一貫教育の軸として運用する力が求められているということです。参加者は 100 名を超え、中には遠方からいらっしゃった方もおり、学園の施設や児童生徒の活動を見ていただく貴重な機会となりました。シンポジウムには地域の方々も参加されており、塩浜学園がまさに、「地域とともにある学校」である姿がうかがえ、非常に感慨深い気持ちになりました。多くの方に塩浜学園を訪れていただけたことは、小中一貫教育を深化・発展させていくうえでとても意義のあることだと感じています。現在、塩浜学園、東国分爽風学園、信篤三つ葉学園において、小中一貫教育の先導的な取組を行っています。教職員は、小学校と中学校の両方に関わることで、子どもの発達に対する認識を確実に深めています。今後も、小中一貫教育の推進に努めてまいります。

また、他の中学校ブロックにおいても、子どもたちの個性を伸ばし可能性を広げられるような 9 年間となるよう、ブロック内の連携を大切にしていまいります。

デジタル化が進み、学校生活でも新しいものがどんどん増えていっていますが、昔から守り受け継がれてきたことも大切にしていきたいものです。学校では、書初めを行ったり、幼稚園や小学校の生活科で昔遊びに取り組んだりしています。今後も子どもの発達段階に合わせて、日本や地域の文化を学ぶ機会をつくってまいります。

来年の干支は卯です。卯年は、うさぎのように跳ね上がるという意味を持ち、希望にあふれ、景気回復、好転する良い年になるといわれているそうです。世界情勢が明るい方向へと進むことを願ってやみません。皆さまも、どうぞ良いお年をお迎えください。